

大河内地区まちづくり協議会 大河内地区防災計画 ～地区の助け合いルール作り～

平成31年1月
笹川町寺井地区

笹川町寺井地区の概要

寺井地区の特徴

阪内川を跨いで、平地と山端の集落である。

人口	世帯数	65歳以上の割合
243人	76世帯	45.0%

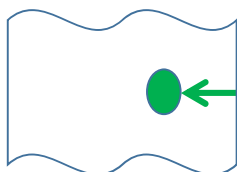
(平成30年3月現在)

過去の災害経験

これまでは特に大きな被害は無かった。

風水害の被害想定

・台風などの風水害ではどのような状況になると思われるか？(別紙①に記入)



寺井地区



別紙①

被害想定

- ・阪内川の増水による、住宅・道路の浸水被害
- ・山からの流水による土砂災害

笹川町寺井地区避難計画

寺井地区の目標

「安全・安心」

寺井地区の緊急避難場所

大河内小学校
寺井公会所

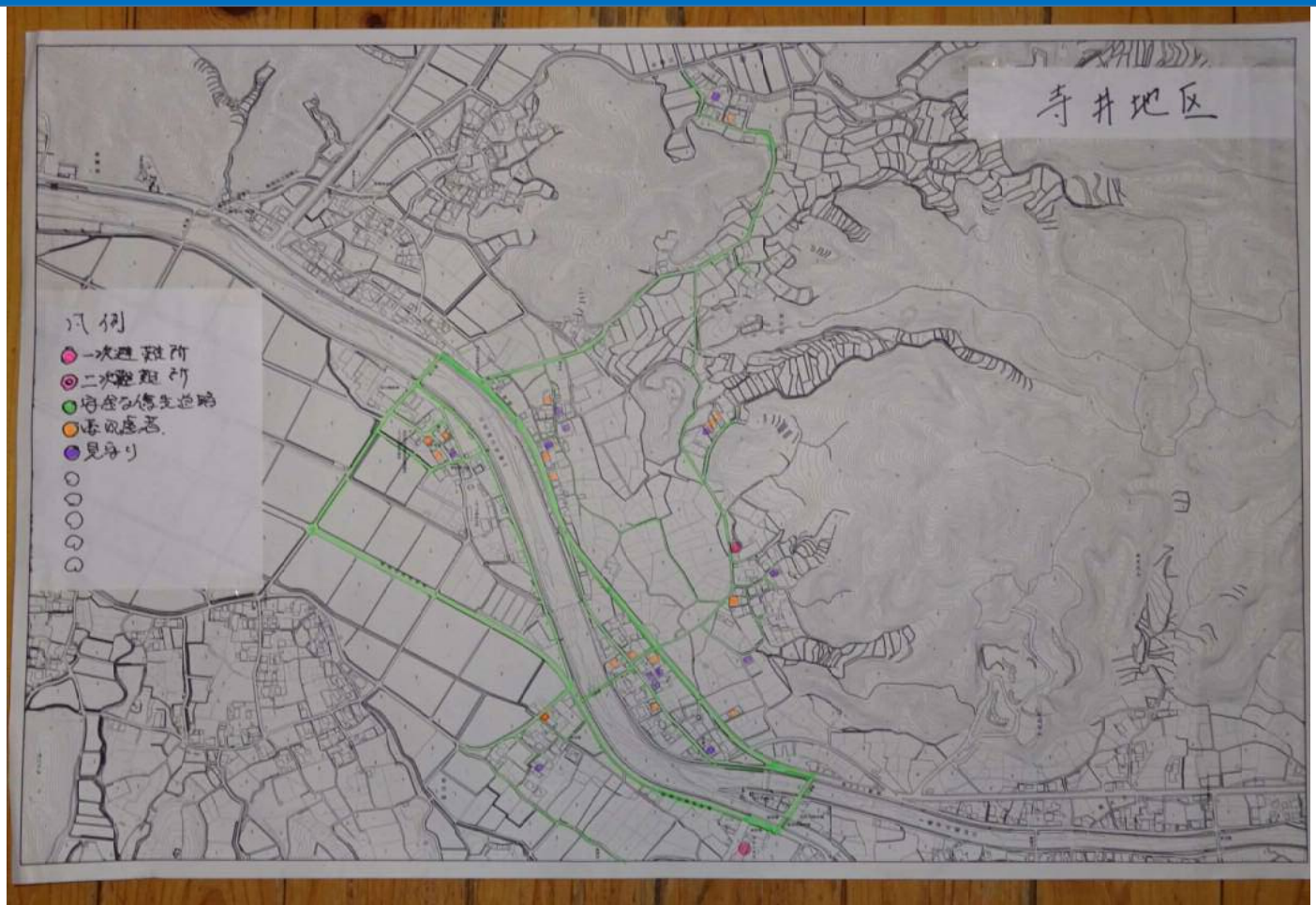
避難行動時の基本ルール

- リーダーを立てる。
- 情報を収集すること。
- 災害時要配慮者へ手を差し伸べる。

避難所運営時の基本ルール

- 災害要配慮者を優先しサポートする。
- 地区のすべての住民に気を配る。
- 食事や衛生面に気を付ける。

笹川町寺井地区における避難所等の位置



笹川町寺井地区の避難先と避難時のルール（風水害）

① 台風接近前の避難

- ・近くて安全な建物に早めに避難する

② 台風接近直前の避難

- ・基本的に自宅待機も良いが、危険と感じたら寺井公会所へ避難

③ 避難勧告等発令時

- ・寺井公会所または大河内小学校へ避難する

④ 阪内川増水時

- ・寺井公会所または大河内小学校へ河川の近くを避けて避難する

避難時の 留意点

- ・夜間については、慌てず照明器具を携帯し、足元などに気を付けて避難する
- ・河川の水位が時は、水路や水溜りには十分に気を付ける
- ・強風時は飛散物に十分気を付ける

寺井地区の避難先と避難時のルール（地震）

①平時の確認事項

- ・非常食の賞味期限のチェック
- ・毛布などの在庫確認

②地震発生直後の行動

- ・ガスの元栓チェックや電気のブレーカーを切り、その他の火元確認
- ・次の余震を考え近くの安全な場所へ一時避難

③避難行動時

- ・避難の際には、あらかじめ決めておいた安全なルートに沿って、近隣の方々と助け合い避難する

④避難所到着後

- ・まず、家族や近所の方々の安否確認をする

避難時の 留意点

- ・夜間の場合は慌てず、明かりを持って足元や周辺の瓦礫に十分注意し避難する
- ・道路の亀裂や地滑り・落石、特に建物の崩壊現場付近には十分注意する

大河内地区防災計画のPDCAサイクル

作成目的 大規模災害発生後72時間（3日）までの地区の助け合い計画

活用組織 自治会、自主防、福社会、消防分団、学校区等を活用

活用費用 市からの補助・助成を確保し、これを活用しながら進めていく

